

参 考 資 料

救急医療がひっ迫する要因と求められる施策
について

救急医療がひっ迫する要因と求められる施策

コロナ疑いの軽症受診者の増加

- －市中においてコロナが急速に感染拡大しているため
- －近隣の診療所が急な感染拡大に対応が追いついていないため
- －医療費負担のない小児において流行が拡大しているため
- －自宅や施設における軽症者の注意点がわからないため

検査を目的とする受診者の増加

- －民間検査所や接触者検査センターの予約がとれないため
- －市販の抗原検査キット（医療用）の入手が困難であるため
- －陰性証明を求める学校や事業者があるため


救急全般における受診者の増加

- －社会全般の活動性が増して、体調不良者が増えているため
- －病床が不足して、不安定な自宅療養者が増えているため
- －活動的で、体調を崩しやすい観光客が増加しているため
- －高齢者施設における見守り機能が低下しているため

救急スタッフの休職・離職の増加

- －コロナに感染したり、濃厚接触者となっているため
- －ストレスが過重となり、働き続けることが困難なため
- －子どもが学校を休んでおり、自宅で見守る必要があるため

求められる14の施策

- 
- ① 感染リスクの高いイベントに対し中止・延期を勧告
 - ② 発熱者や検査に対応できる医療機関の拡充
 - ③ 軽症者向けの自宅療養の手引きの作成と周知
 - ④ 社会福祉施設への訪問診療体制強化（施設支援班）
 - ⑤ 県が運営する接触者検査センターの体制強化
 - ⑥ 県主導による抗原検査キットの確保と重点的配布
 - ⑦ 陰性証明を求めないよう学校や事業者に周知
 - ⑧ 基礎疾患、妊婦等への体調管理について注意喚起
 - ⑨ 急性期医療に集中できるよう入退院連携の強化
 - ⑩ 事業者を通じて観光客の健康管理について注意喚起
 - ⑪ かかりつけ医による搬送前の往診体制の強化を要請
 - ⑫ 濃厚接触した医療従事者への確認用抗原検査の配布
 - ⑬ 救急医療の状況説明と適正利用の強い呼びかけ
 - ⑭ 医療従事者の子どもの保育施設・学童の確保